



2018年3月9日

各 位

会 社 名 大同工業株式会社
代表者名 取締役社長 新家 康三
(コード番号 6373 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 菊知 克幸
(TEL . 0761 - 72 - 1234)

第 11 次中期経営計画策定に関するお知らせ

大同工業株式会社および当社グループ各社は、別紙のとおり 2019 年 3 月期から 2021 年 3 月期を対象期間とする第 11 次中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

以上

第11次中期経営計画

切り拓こう たゆまぬ挑戦で 未来を！

2019年3月期～2021年3月期

2018年3月9日
大同工業株式会社

I. 会社方針・経営スローガン

【会社方針】

1. 成長市場・成長分野を取り込み事業を拡大する

- アジア二輪市場、北米四輪市場など成長市場の取り込みを強化する。
- 包装・食品・窯業・物流市場への活動を強化する。
- 国内・海外のグループ会社一体となって戦略課題に取り組む。

2. 技術の進化で新たな市場を開拓する

- 高度塑性加工による新製品を市場に投入する。
- 次世代自動車分野での新規事業基盤を開発する。
- 将来のコア事業化につながる戦略的な新製品・新技術・新サービスを開発する。

3. 多様な人材を育成し活用する

- 新たな人材育成カリキュラムを実施する。
- 多様な人材が活躍できる仕組みづくりを実施する。
- 柔軟性のある雇用制度を構築する。

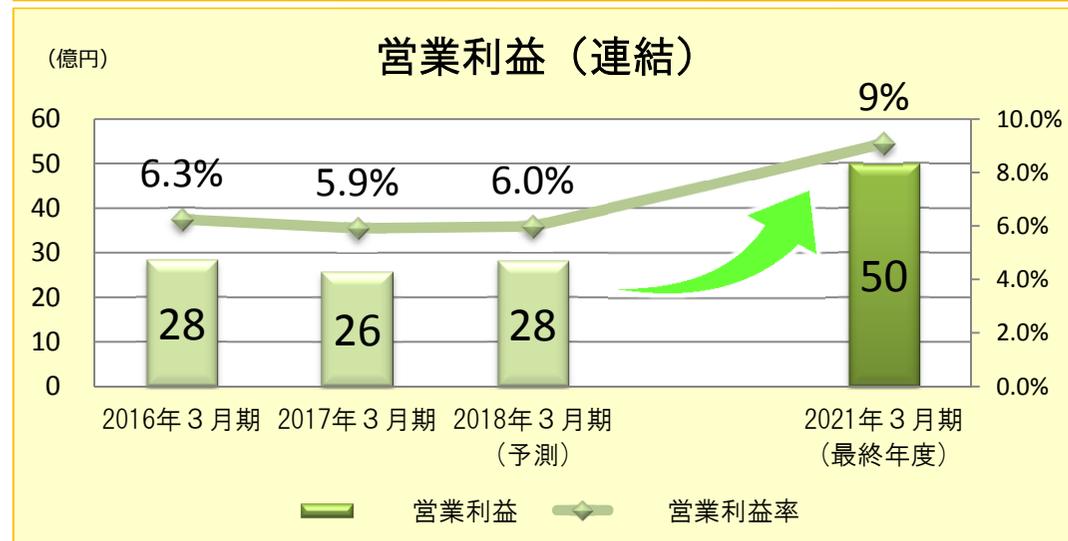
【経営スローガン】

『切り拓こう たゆまぬ挑戦で 未来を！』

Ⅱ. 全社数値目標

2021年3月期 (最終年度目標値)	
売上高	550億円
営業利益	50億円
営業利益率	9%
自己資本利益率 (ROE)	10%

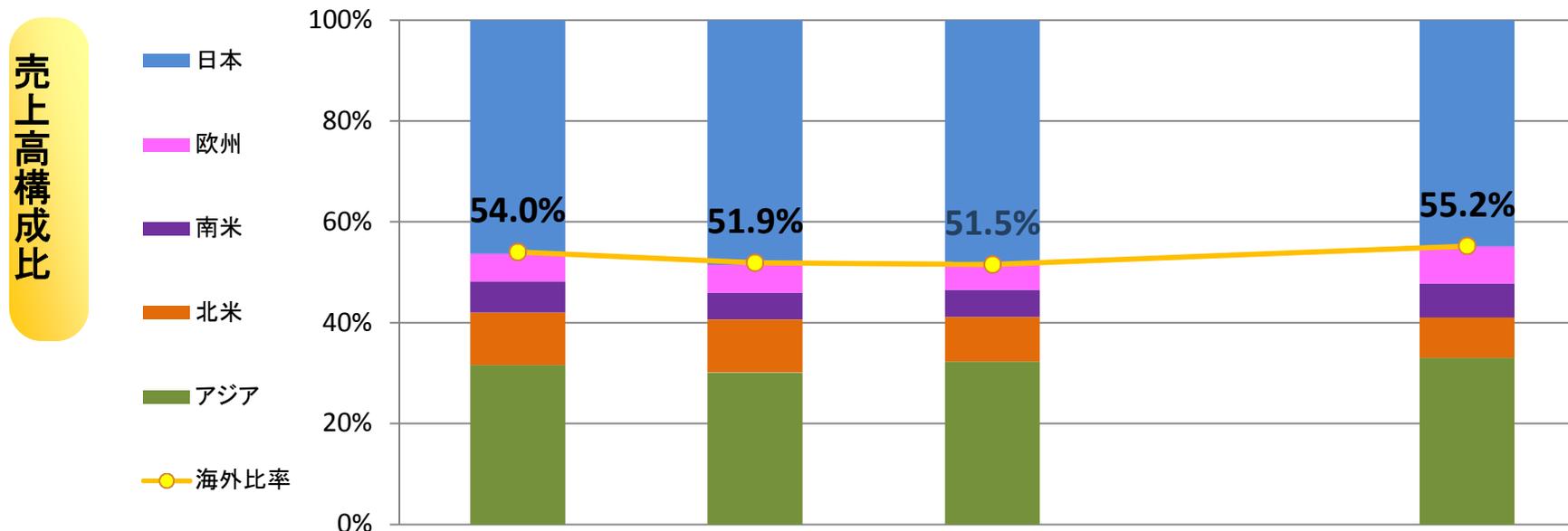
為替レト: 1 USD=110円, 1 EUR=125円



Ⅲ. 海外売上高（仕向地別）

（単位：億円）

（連 結）	'16/3月期	'17/3月期	'18/3月期 （予測）	'21/3月期 （最終年度）
売 上 高	4 5 3	4 3 6	4 6 9	5 5 0
う 海 外 売 上 高	2 4 5	2 2 6	2 4 2	3 0 5



IV. 事業別 主な取り組み

四輪事業

- フルシステムメーカーとして、M L 獲得・売上拡大
- 世界で勝てる価格を構築
- システムメーカーとして、生産・供給・販売体制をグローバルで強化

二輪事業

- 利益を創出できるグローバル体制と事業体質の改革
- 補修市場での新規市場開拓と既存市場での商流整合、販売拠点の設立・強化
- チェーン・アルミリムの生産能力の確保と管理システムの構築

産機事業

- 每期 10% 以上の高機能・高付加価値・開発商品の販売拡大
- 既存市場のメンテナンス需要の取り込み
- コンベヤ既存分野の維持拡大と新商品で新たな事業領域の拡大

IV. 事業別 主な取り組み

開発

- 創立90周年までに新規事業立ち上げ、創立100周年までにコア事業化
- 協業を視野に入れスピーディな新規事業立ち上げ
- 既存事業のコア技術に関する基礎まで掘り下げた研究開発を継続

技術

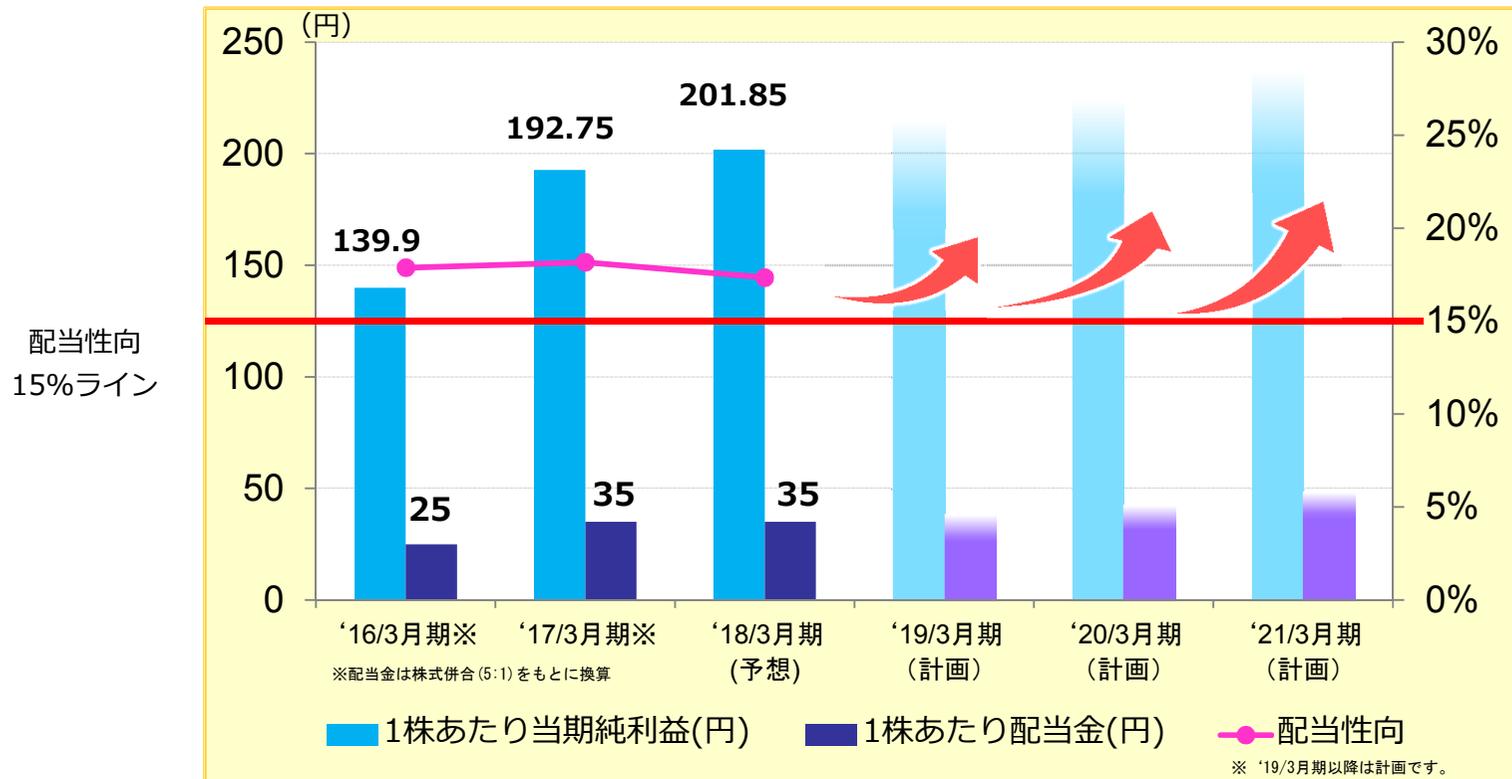
- 高度塑性加工品を国内・海外自動車メーカーへ納入
- 生産性向上のための工場再配置

その他

- 多種多様な働き方の構築、新たな人財育成カリキュラムの実施
- ICT活用による基幹システムの新化と再構築

V. 配当方針

配当実績と配当性向(連結)



- 株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策と位置付け、安定した配当の維持を基本とし、通期の業績、経営環境並びに中長期的な財務体質の強化等を総合的に勘案して配当を行う方針であり、本中期経営計画期間中の配当性向(連結)は **15%以上**とし、一株当たり配当金の継続的な拡大を目指します。

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定されたものであり、潜在的なリスクや不確実性等を含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。今後の様々な要因の変化により、実際の業績は、本資料の記載内容と異なる結果となる可能性があります。